

# 雲仙

ORGANIC BASE  
NEWS Letter

# 吉祥寺 to

## 先日、

飼っていた猫が県道でひかれました。  
大根を出荷しようと  
駐車場にむかったら、  
道の真ん中で横たわっていて。  
僕の腕の中で眠るように  
息を引き取りました。  
猫は、  
菜の花とともに、  
家族で畑の脇に埋めてやりました。  
引越してすぐ小高い丘で拾った、  
小さい小さい雲仙の命でした。

## 奥津家の畑より。



畑の菜の花も一気にさきはじめ、  
雲仙も春の風がふいてきました。  
相模湖の須藤さんから種を継いだ  
津田カブ、盛岡の田村くんから種を  
分けてもらった盛岡山東菜らが見事な  
黄色い花を咲かせています。

去年は大根の種を何種類か播きました。  
平家大根、源助大根、雲仙赤紫大根、  
三浦大根。

はじめは真面目に交雑防止ネットをはって  
いたのですが、可憐な白い花がネットの中に  
閉じ込められているのを見るに耐えず  
「岩崎さんもネット張ってないしね」と  
早々に取り払い、結果、見事に平家と  
源助大根が交雑。  
うーん、こんな小さい畑だし、  
そりゃそうだよな。

種どりする場所や時期を考え尽くし  
交雑を防いでいる種どりキャリア30年の  
岩崎さんの凄みを、改めて痛感です。

「それF1ですからね(笑)」

平家と源助が交雑した大根の話を書いて  
千葉・宮本農業の宮本さん。

「でも、ちゃんとした(種で継いだ)F1は  
美味しいんですね」と。曰く、何回も  
続けて近親交配を続けると雌性不稔の  
確率が劇的にあがるという  
データもあるそう。

「遠い品種と交わりながら、形を変えながら  
種とすることも大事なんじゃないかな」



と教えてくれました。  
よく考えたら、ほぼ全ての固定種・  
在来種は交雑を繰り返して今があるわけで。  
何かのご縁で交雑した平家大根と  
源助大根の種、雲仙の風と土とともに  
継いでいきたいとおもいます。

にしても、出荷って大変です。

大根を一本一本あらって箱詰めして  
宛名を書く。僕が収穫する量は  
微々たるものですが、  
農を生業とするプロ農家の大変さを  
痛感しました。

くわえて産直の在り方に根本から  
大打撃を与える送料の高騰、  
大雪や季節外れの台風という  
昨今の異常気象による  
大規模な被害などなど。

「30年農業をやってきて、  
今が一番厳しい」という  
岩崎さんの言葉が肺腑に沁みます。

畑の大根たちは南相馬の  
障害者施設ぴーなっつさんと  
福島いわきの郷ヶ丘幼稚園に  
送りました。

3年半つづけてきた  
「福島こどもたべもの便」、  
ようやく自分が育てた野菜を  
送ることができました。

奥津爾

雲仙より



福島PICK-UP  
服と雑貨

2月21日 & 22日  
@ 吉祥寺ヒトト 特設スペース

「福島市に素晴らしい洋服屋さんがあるんです」

エフスタイルの二人に案内してもらって、その在り方に感動してから3年。ずっとやりたかった企画がようやく実現しました。モノが溢れ、何もかもが手に入る街の真ん中だからこそ、「服と人の幸せな出会いを創造する」という洋服店の本来の機能から一切ふれない、彼らの仕事ぶりを感じていただきたいと思いました。足を運んでくださった皆様、ありがとうございました。

皆様のお心の中で、福島の風がふいたことを信じます。



大橋弘写真展  
「風がつくるもの」

2月4日—3月2日  
@ 吉祥寺ヒトト・かぐれ表参道

大橋弘写真展「風がつくるもの」が終了しました。風がつくる乾物や干物、昔から変わらず継がれてきた伝統食の写真展。

自ら企画したにも関わらず、第3子の出産もあって写真を見れたのは展の最終日。やっと見れた大橋さんの圧巻の写真群の前に、しばし言葉を失いました。

「日本の伝統を守らねば」というセンチメンタリズムにも、あるいは「日本ってすげーなあ」という安直な賞賛にも逃げる事ができず。

ようやくおきてきた想いは、果たして自分は、この営みに恥じない生き方をしているのだろうか、という一事でした。

ご来場くださった皆様、ありがとうございました。

Unzen to Kichijoji

おわり  
はじまり

form Kichijoji



ともに 2015年3月25日—4月13日 @ 吉祥寺

この春、吉祥寺で「ともに」展を開催します。

藤川孝之・natsuno hiraiwa・青木隼人・竹内紙器  
会場はヒトト・ラウンダバウト・アトリエ間間

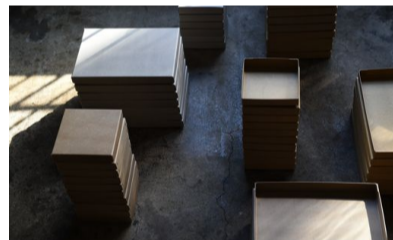
絵\_服\_音\_箱——という独立した表現がそれぞれの  
空間で相寄り、鳴り始める音楽を感じていただけたら嬉しいです。



藤川孝之 絵と素描展@ヒトト・ラウンダバウト  
フジカワデッサン@ヒトト (要予約)



natsuno hiraiwa 服とエプロン展  
3月25日-30日 11:00-18:00 @アトリエ間間



竹内紙器製作所 箱と印刷の展  
@ヒトト・ラウンダバウト



青木隼人ギター演奏会  
4月6日(月) @ヒトト (要予約)

※詳細、青木隼人ギター演奏会と大切なものをその場でデッサンする  
フジカワデッサンのご予約はオーガニックベースのHPより。

<http://www.organic-base.com/>

ORGANIC BASE 風土とたべるを考える

「都市と地方」「伝統と新しさ」「交換と贈与」など、対立相補するもの(陰陽)からの創造がテーマ。マクロビオティックと伝統食、身体性、種、農、育児、手仕事などの企画運営。吉祥寺でアトリエ間間、食堂ヒトトを営む。雲仙では在来種の自家採種に取り組む。

<http://www.organic-base.com>

食堂ヒトト ————— 東京都武蔵野市吉祥寺南町1-6-7-3F t/f 0422-46-0337  
たとえば、数百年つづく伝統的な製法による保存食。あるいは何代も種とりされた力強い在来種の野菜。作り手の息づかい、その土地の風と土を感じる料理、空間を。

12:00-15:00 お昼ごはん / 15:00-18:00 お茶とお菓子 | 定休日/火・水曜日  
18:00-22:00 お酒と季節の料理 | 夜はご予約承ります。

アトリエ間間 <sup>まんま</sup> ————— 東京都武蔵野市吉祥寺南町4-6-8-1F t/f 0422-40-2467  
マクロビオティック、料理、身体、農、手仕事のクラスを日々開催。時折ギャラリーとしても。

オーガニックベース ニュースレター「雲仙と吉祥寺」vol.2 / 2015年4月号 2015年3月15日発行  
雲仙市小浜町にて制作 文・編集 | 奥津爾 デザイン | スタジオシロタニ